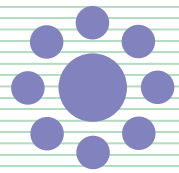




細川護熙公・護光様をお迎えして
故細川護貞公ご夫妻追善茶会を開催
京都南禅寺天授庵本堂に於て



三斎流

九曜会だより

発行

三斎流九曜会

会長 小林祥泰

事務局 出雲市今市町53

故細川護貞公ご夫妻

追善法要茶会の要綱

敬啓上

桂花香露秋武深まりました

尊台には、愈々御清福の御事と慶賀に存じ上げます

平素は三斎流につきまして何かと御高配を賜り厚く御礼申し上げます

さて、細川護貞公には平成十七年十月三日に他界致され、奥方重子様

も翌十八年九月二十一日に他界をされました

三斎流にとりまして五十年以上の永きに亘り御心に掛けて頂き、御守り

下さいました。今日ありますのも偏に温かい御心の賜ものでございます

殊に宗瑞宗匠の後は御夫妻様お揃いで、貴座となく御下り頂きました

その御報恩と慈徳を偲びこの度、京都南禅寺「天授庵」に於きまして

御霊の御平安を祈り法要を厳修する運びに相成りました

就きましては御遠路又、御多忙のところとは存じますが何卒ご来臨の姿を

賜りますよう御案内申し上げます

敬白

平成二十年十一月十八日

三斎流家元 森山宗育

九曜会会長 小林祥泰

記

一、日時 平成二十年十二月七日(日)午前九時

一、場所 京都 南禅寺 天授庵に於て

献茶式 午前十時より本堂に於て

家元 森山宗育

濃茶席 金龍軒の間(担当・九曜会)

薄茶席 書院(担当・翠尚会・京都)

点心席 懷石料理矢尾治

記念品 細川護光様作 焼メ丸皿

法要並びに献茶式

十二月七日(日)午前十時
天授庵本堂に於て

かねてより家元様の念願であつた故細川護貞公・薫子様ご夫妻の追善供養が、細川家ゆかりの京都南禅寺天授庵でとり行われた。細川護熙公・護光様、千明子様のご臨席を賜り追善法要並びに献茶式を、天授庵佐藤信行和尚の導師に依り、ご夫妻の遺影が飾られた祭壇に供えられ、全員で続経をした。細川護熙公ご焼香に続き護光様、千明子様、家元様若宗匠が焼香された。



家元から改めて、細川護熙公、護光様、千明子様はじめ、参加頂いた会員一同に対し、お礼のご挨拶をされた。「特に故細川公ご夫妻には長年出雲にお下り頂き、先々代先代亡き後、今日まで親身になってお護りお支え頂いたご恩に対し、ささやかではございましたが、お報いさせて頂くことが出来まして…」のご挨拶は、胸に込みあげるものを感じ、一同感極まるものであつた。

その後、夫々点心席、お茶席へと師走の京都路での法要茶会が無事終了した。



前列左より細川護熙公、護光様、千明子様、小林会長



薄茶席担当の京都翠尚会の皆様と実行委員会一同の合同記念撮影
次の実行委員17名の者が奉仕させていただいた
大平晴之・角修二・佐藤忠正・河島歳幸・今岡祥子・原達雄・
渡部文子・柳楽晶子・柳楽隆子・吾郷俊子・松尾牧子・福間佳美・
大野智子・那須裕史・今岡由華・竹谷由美子・鎌田千香



細川護貞公ご夫妻の墓
天授庵一隅に細川幽斎ご夫妻をはじめ、細川家歴代の墓が多数ある

九曜会事業報告

平成二十年七月～二十一年六月

○九曜会総会

平成二十年七月二十七日(日)
ホテル武志山荘

平成二十年度総会が、会員一人の出席のもと開催。小林会長様、家元様のご壮健なお姿に接し、力強いご挨拶を拝聴した。続いて、二十年度事業、決算報告、次年度事業計画、予算案について審議され、何れも可決された。

午後は、細見美術館(京都)館長細見良行様に「細見古香庵 蒐集の軌跡―茶の湯を中心に―」という演題で講演を頂いた。

講演内容は後日、講演特集号を発行する予定です。

○月見の茶会

平成二十年九月十三日(土)、十四日(日)
しまね花の郷

席担当 さくら会



○出雲大社亀山茶会

平成二十年九月二十八日(日) 曇り

二十二回目の亀山茶会は、家元による献茶が行われ、続いて奥書院の濃茶席、亀山新館の薄茶席でお茶を差し上げた。一六〇人の来席者で賑わった。

濃茶席 北島家奥書院 杉原伊藤社中
薄茶席 亀山新館 福岡社中

「濃茶席 真夏日の長く続いた日も漸くおさまり、まさに「殿閣微涼を生ず」の一日。宇迦のもと、亀山茶会を終えることができました。

お茶は、楽しんでやるものだと思います。いつなかなそんな心境になるのは容易なことではありませんでした。

この度は、若い二人に後見を任せ致しました。正客様のお導きのおかげで何とか責務を果たすことができました。二つの社中が一丸となつて、真剣に稽古をし、打ち合わせをしているうちに「相生の松」の菓子の銘も決まり、その頃からやつと少しずつ楽しみが湧いて参りました。時折、笛や太鼓の音を聞きながら、「今、ご神前のお茶を奉仕させていだいてくれるのだ」と何ともいえない神聖な気持ちと有難い感謝の念に浸っておりまし

た。

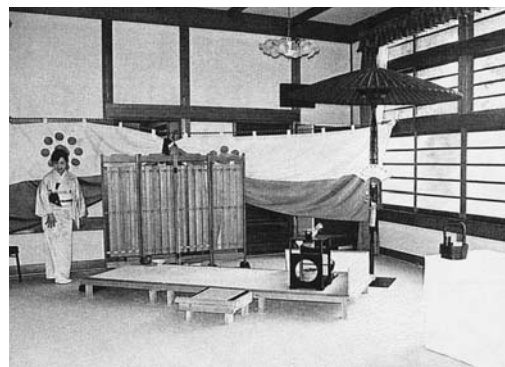
杉原昭子

「薄茶席」スムーズに点出しが出るか、前日までとても心配しま

したが、役員の方々の協力を得、当日は、お客様をあまりお待ちせずすることもなく無事終えることが出来、皆様のご協力に大変感謝しました。前日遅くまでの準備、当日の最後の片付までお手伝い頂き本

当にありがとうございました。
亀山茶会の薄茶席担当は初めてでしたので、大変なことも多かった。反面勉強になった事も多い席担当で

した。ありがとうございます。
福岡喜代美



○松江城山大茶会

平成二十年十月四日(土)、五日(日)
松江城山二の丸広場

席担当 観翠庵・直門

安来・米子・河田社中

今年は松江開府四〇〇年と三齋流武家茶道を絡み合わせ、席中を武士の戦いの陣中を思わせる設え

にと若宗匠の企画に依り、開府四〇〇年事務局から甲冑を借りたり、九曜紋ののぼりを立てたり、様々な趣向をこらした。

旅筆筒の点前を若い男性方が二日間とも一手に引き受け、三齋流ならではの武家茶道で大変好評であった。入客数四日六八五人、五日はいにく雨が降ったりしたが六二〇人であった。

待合入口に普門院の茶室修復のための募金箱を設置、二日間約五万円のご厚情をいただいた。又、九曜会からも五万円を拠出し、十月二十七日には若宗匠が観月庵修復事業協議会会長丸磐根氏へ募金を持参された。



○十六善神を偲ぶ会

平成二十年十一月九日(日)

平田本陣記念館(悠々庵)

席担当 大野・山田社中

今年は、回を重ね五回目となり、定着した感じで、三〇〇人の来客で賑わった。

高桐院義山和尚の「和敬静寂」のお軸の前で、日頃忘れがちな茶の湯の根本精神を今一度思い返して社中一同、心を込めて一服差し上げました。此の度の茶会でも又、一つ一つお勉強させていただきました。ありがとうございます。

山田晶子
大徳寺高桐院 義山和尚筆
和敬静寂

○出雲和文化祭り

平成二十年十一月二十二日(土)、二十三日(日)

出雲文化伝承館 松籟亭

席担当 下垣・加儀社中

三六〇人の来客を迎え、呈茶席で賑わった。

紅葉が美しい松籟亭の中庭、本席には、先代の利休居士の語を掛けさせていただきました。

木佐清月堂さんの栗きんとんを口にされた皆さんは、季節感あふれる美味しさに感動され、炉開きにふさわしい茶の醍醐味を味わっていただきました。 下垣孝子

○故細川護貞公ご夫妻様
三回忌追善法要茶会
(同時・三齋忌法要)

平成二十年十二月七日(日)

京都南禅寺・天授庵

・十二月六日(土)夜七時三十分より

夕食会(ホテルモントレ京都)

・十二月七日(日)午前九時

献茶式・法要 午前十時 本堂

家元 森山宗育

席担当 観翠庵・実行委員会



書院 薄茶席 翠尚会

床掛物 怡園公御筆 停雲

・総参加人数 九十八人

細川様・千明子様・家元家

村瀬様・塩沢様・岐阜一行

九曜会会員

京都翠尚会(梅村社中)

九曜会実行委員会

○早春の茶会

平成二十一年三月二十二日(日)

出雲文化伝承館 松頼亭

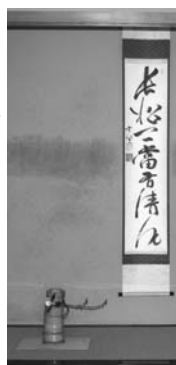
十七回目を迎え、広く定着してき

た茶会になり。今年も、五〇〇人程
の県内全域からの来席者で賑わった。

席担当 大田・広沢社中

伝承館のお茶会は、何度か担当
をさせていただきましたが、年々盛
会のようで、何とか無事に終わり、
先生始め皆、ほっとしているところ
です。ありがとうございました。

席担当 大田社中一同



床 井伊宗親公筆 長松下富有清風 宗黨
花入 吟喙斎宗生作 銘タンホ



○新樹の茶会

平成二十一年四月二十九日(水・祝)

濃茶席 観音寺書院

薄茶席 観翠庵書院

観翠庵を三齋流以外の一般の方
にもご来庵頂く唯一の機会である
恒例の茶会は、一九〇人の来客で
賑わった。

濃茶席担当 山崎(智)社中
薄茶席 富士の間 杉山社中



《濃茶席》小人数の社中でお席を
担当しましたので、時間のかかる
場面もあり、ご迷惑をお掛けした
ことと思います。しかし、社中が目
的に向かって一つになれたことは、
よかったと思います。何と云っても
好天に恵まれ、気持ちのよいお席を
担当させていただきました。

事務局の方々の親身のご努力に
心から感謝いたします。ありがと
うございました。

席担当 山崎智恵子

《薄茶席》当日は、すばらしい茶
会日和となりました。

濃茶席からの一方向の席順であ
り、最初一席目は四十分の時間待
ちがありました。しかし、途中から
の流れはスムーズでした。

席担当 杉山 郁子

○出雲大社大茶会

平成二十一年

五月十五日(金)、十六日(土)

出雲大社外苑

席担当 佐藤・樋野・山本

野々村社中・加茂会

天皇陛下御即位二十年と天皇皇
后御大婚五十年を記念した、お茶
会でありました。記念品の引換も
あり、両日合わせて、一、四〇〇人
のお客様で、大いに賑わいました。

天皇陛下御即位二十年天皇皇后

両陛下御大婚五十年奉祝茶会であ

り、記念品も付けられた為、入席者

は多かった。席担当 山本ますみ

二日目(十六日(土))は、雨天・松江

のホーランエンヤもあつた為、初

日に客数は集中した感じがした。

席担当 佐藤 忠正

會 記

扇面 中宮寺日野西光門主筆 舟無彦	花入 唐物鑑	花 幸のもの	釜 象形銅地紋	風炉 唐銅八角	風鈴 先 九曜紋入結界	本箱 若竹	茶杓 天龍寺精拙老師作 共箱	茶器 平 龜甲文	茶盤 千家尊祀宮司 合筆 和光	茶 松紋	蓋 竹引切 観翠庵茶碗在利	建水 高田焼 エゾゴ	御茶 神の里	菓子 重光	菓子 根室の松 八雲堂
出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作	出雲 寺池静人作

○講習会

平成二十一年六月十四日(日)晴れ

出雲文化伝承館 出雲屋敷

今年は、午前、午後後に渡り研修会
が開催された。

開会の前に、前日急逝された澄

田信義前知事に一同で黙祷をささ

げ、続いて若宗匠のご講和をいた

だいた。近年は、稽古茶道になっ

ているが、結局は、茶事であり何事も

客への気配りが大切である。又、師

匠と弟子との関係をわかり易くお

話いただいた。

点前研究(平点前)

薄茶 川瀬清恵先生

濃茶 山田晶子先生

辰村先生(濃茶)、山崎先生(薄

茶)がそれぞれ解説をされた。

お悔やみ

藪中 佐代子先生(隠岐)

平成二十一年二月六日死去

七人のお弟子さんの指導

に当り長年九曜会にご尽力

された。

編集後記

九曜会だよりを久しく失礼いた
しておりましたが、漸く発行でき
安堵いたしました。今年度か
ら席担当の先生からご報告を載
き、掲載させていただきました。あ
りがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたし
ます。